

## イーコトボックス

### 図解でわかるカーボンニュートラル

世界が水素や再生可能エネルギーなどのグリーンエネルギーに舵を切中、遅れをとっている現在の日本のエネルギー動向を踏まえ、カーボンニュートラルを実現するために必要な技術、これから具体的に何をしなければならないのかが図解でわかりやすくまとめられた一冊です。



**お知らせ**  
臨海3Rステーションでは、環境に関する書籍の貸し出しを行っています。詳しくは、事務局スタッフまでお尋ねください。

【著者】一般財団法人エネルギー総合工学研究所編著  
【出版社】技術評論社 【ISBN】978-4-297-12269-0 【定価】2,970円(税込)

## リンカイプラス

### Reuse / リユース

「リユース」は繰り返し使うこと。不用になったものを他の人に使ってもらうことはリユースの第一歩であり、ごみに回さない分、二酸化炭素の排出を抑えられます。臨海3Rステーションでは、ご家庭で不用になったもので、まだ使える衣類・雑貨・図書を引き取っています。持ち込みについては規程をご確認の上お持ちください。



## リンカイからののお知らせ — ホームページがリニューアルしました！

10月1日より、臨海3Rステーションのホームページがリニューアルしました。今回のリニューアルでは、より見やすく、情報をわかりやすくお伝えできるホームページとなるように、写真をたくさん盛り込みデザインや構成を一新しました。講座やイベント情報、お知らせなどもわかりやすくまとめていきます。ぜひ環境にいい取り組み(イーコト)の情報検索にお役立てください。



▲ホームページ



▲トップページ(最新ニュースなどが見やすくなりました)

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

▲講座情報(カレンダー形式で予定が一目瞭然！)

## 臨海3Rステーションの講座・イベント情報はここから 青号と赤号を交互に発行！

臨海3Rステーションでは、身近なエコに関する講座やイベントを紹介する「RINKAI NEWS」を毎月発行しています。プリントでの配布の他、公式WEBサイトでも公開しています。ぜひチェックしてみてください！

### RINKAI NEWS

最新号はこちらから！



## 福岡市 Fukuoka City Seaside 3R Station 臨海3Rステーション

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13番42号

《WEB》 <https://rinkai3r-station.com/>

《TEL》 092-642-4641 《FAX》 092-642-4598

《休館日》 月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始

《開館時間》 10:00~17:00

《アクセス》 ●地下鉄「貝塚」駅より徒歩約20分

●西鉄バス「リサイクルプラザ前」より徒歩約1分

●西鉄バス「高須磨町」より徒歩約10分



身近な暮らしから「環境」について考える

# ECO T

イーコト

進み続ける  
地球温暖化...

07

2023. 冬号  
winter

私たちの行動が  
脱炭素を実現させる第一歩！

### カーボンニュートラル(脱炭素)って？

経済活動や生活の中で排出する二酸化炭素をできるだけゼロにしていくことを指します。全く排出しないということではなく温室効果ガスの排出量と森林保全などによる吸収量を等しくして±ゼロにすることを指します。二酸化炭素は、私たち人類が原因で、温暖化に最も大きな影響を与える温室効果ガスの一種です。

07

#カーボンニュートラル

世界の平均気温は2020年時点で、工業化以前(1850～1900年)と比べ、約1.1℃上昇しました。今後更なる気温上昇により、豪雨や猛暑のリスクが高まることが予想されており、日本においても、農林水産業、水資源、自然生態系、自然災害、健康、産業・経済活動等への影響が出ると指摘されています。こうした状況は、もはや単なる「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われています。豊かな地球の環境を守り残していくためには、脱炭素社会の実現に向けて、カーボンニュートラルに取り組むことが必要です。今号では「カーボンニュートラル」をテーマに、福岡市がどんな取り組み(イーコト)を実施しているのか?脱炭素社会の実現に向けて、私たちに何ができるのか、その現状に迫ります。

● 1℃の気温上昇がもたらす気候危機

地球温暖化を一因とした気候変動により、異常気象、農作物の発育不良、熱中症・感染症の拡大などさまざまな影響が現れています。1891年から2020年にかけて世界の平均気温は約1.1℃上昇しました。数字にすればたった「1℃」。しかしながら、この1℃の上昇が気候に大きな影響を与えます。2018年には、埼玉県熊谷市で観測史上最高の41.1℃が記録され、日本で熱中症による死者が1,500人を超え、2020年7月の豪雨では、全国17,000棟以上の家屋が被害を受けました。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の「第5次評価報告書」によると、温暖化に対して何の対策も取らなければ、2100年までに気温が最大4.8℃上昇するとされています。



令和2年7月豪雨 熊本県球磨郡球磨村 【出典】 OPEN JAPAN

生き物への影響



ホッキョクグマが絶滅の危機に瀕している

ホッキョクグマは海に浮かぶ氷の上で狩りするが、その氷が温暖化で溶け出す時期が早まり、栄養不足に。絶滅の危機に瀕している。

【出典】 気象庁ホームページ、著書「見て、知る、サステナブル はじめての脱炭素」

農作物への影響



お米や果物の品質が悪くなってしまう

高温の影響で、米が白く濁ってひびが入ったり、ぶどうやりんごなど果物の皮の色が変色したりして、見た目が悪く、売れなくなる。

100年あたりの年平均気温の変化傾向

↑ 1.26℃

※気温が上昇している

100年あたりの年平均海面水温の変化傾向

↑ 1.16℃

※海面水温が上昇している

● いまカーボンニュートラルが求められる理由

温暖化対策の1つとして、2015年には「世界的な平均気温上昇を産業革命以前より2℃未満に抑える」との内容でパリ協定を締結していることが背景として挙げられます。パリ協定は、途上国を含む全ての参加国に、排出削減の努力を求める枠組みで、今世紀後半には脱炭素(カーボンニュートラル)社会を実現することを目標としています。地球温暖化を進める温室効果ガスのうち、割合としてもっとも多いものは二酸化炭素です。CO2排出量が最も多い中国は毎年約100億トン、2番目に多いアメリカは約45億トンを排出し、この2国で全世界の約40%を占めます。2020年には、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの

影響によりエネルギー需要が減少し、第二次世界大戦以来最大の年間減少率となりましたが、より本質的な排出削減に努めるべき状況に変わりはありません。このままの速さで温暖化が進めば、2030年から2052年の間に気温が1.5℃上昇すると予測されています。1.5℃に抑えるためには2050年までに脱炭素が達成されることが必要で各国がさまざまな取り組みに着手しています。日本においては、2020年10月に2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「カーボンニュートラル宣言」を掲げています。

二酸化炭素排出量の国別ランキング(2020年)



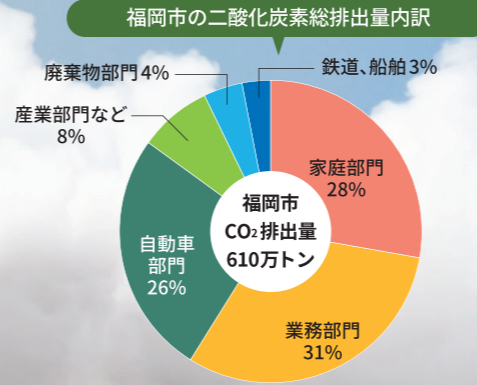
【出典】 著書「見て、知る、サステナブル はじめての脱炭素」

80年後には気温が4.8度上昇!?

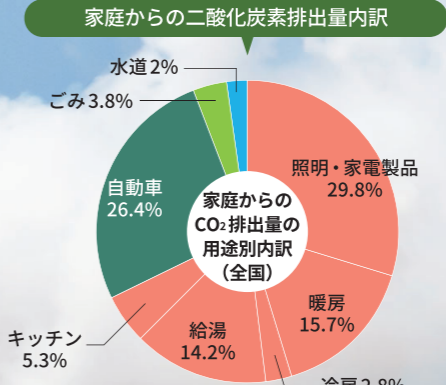
● 福岡市のCO2排出量の現状とこれからの目標

福岡市の二酸化炭素排出量は、「家庭部門」「業務部門」「自動車部門」が約8割を占めており、特に「家庭部門」から出たCO2は年間約168万トンで(2020年度)、全体の4分の1を占めています。脱炭素を実現させるためには一人ひとりの行動を変えていくことが必要となります。また、福岡市では、2020年2月に「2040年度

温室効果ガス排出量実質ゼロ」を目指してチャレンジすることを表明しています。2030年度目標として「市域の温室効果ガス排出量を50%削減」と「市外への温室効果ガス削減貢献量、吸収量を100万トンとする」という2つの目標を掲げています。



【出典】 福岡市地球温暖化対策実行計画



【出典】 温室効果ガスインベントリオフィス/全国地球温暖化防止活動推進センター HPグラフを加工

明日からできる Activity

街中での宅配ボックスの利用

我が家では、お買い物といえばフリマアプリを活用することが日常です。一方で日中は私も夫も外に仕事に出ているので、再配達票がポストに入っていることもしばしばあり、配達員さんに申し訳ない気持ちでした。そこで、宅配ボックスの利用をはじめたことに。購入した荷物をスーパー、コンビニ、ドラッグストア、駐車場、公共施設など、好きな場所で受け取れます。宅配ボックスに切り替えてからは、再配達をお願いすることも無くなりましたし、何より再配達の際に発生する二酸化炭素の削減につながっていることが、私生活における大事なエコアクションになっています。切り替えられることは無理なく切り替える。これが持続可能なコツだと実感しています。



福岡市の取り組み 01

省エネ家電 買い換えキャンペーン

「交通系ICカードに1万ポイント付与」 福岡市では、10月11日以降に福岡市内の店舗で省エネ基準達成率100%以上のエアコン、冷蔵庫、テレビを購入された方へ、交通系ICカードに10,000ポイントを付与するキャンペーンを実施!さらに、その他のエコアクションに取り組んだ方には、最大5,000ポイント、合わせて最大15,000ポイントを付与します。1月末までにHPから登録してください(先着1万世帯)。

福岡市の取り組み 02

福岡市緑のカーテンの推進 「グリーンカーテン」

市民に、省エネや熱中症予防などの地球温暖化対策となる緑のカーテンにさらに楽しく取り組んでもらおうとはじめた取り組みです。「緑のカーテン」の取り組みの普及拡大に向け、市内の保育園に対して朝顔の種が配布されています。年度当初は、各区役所でも種がもらえます。今年の夏に向けて、あなたも緑のカーテンづくりにチャレンジしてみませんか?



TOPICS

家庭でできる身近なイーコトチャレンジ!

私たちは暮らしの中で欠かせない、電気やガスをはじめとするエネルギーを使うことによって、CO2を排出します。私たちが普段の暮らしの中から省エネに取り組んでいくことが、カーボンニュートラル(脱炭素)を実現させる第一歩です。

私たち一人あたりが一日の暮らしのなかで排出するCO2量 約20.8kg/日

01 公共交通を利用しよう

人間を1人運ぶときに出るCO2の量が一番大きいのは自家用車(130g-CO2/人km)。続いて飛行機(98g)、バス(57g)、鉄道(17g)という順になっています。もちろん徒歩や自転車移動は排出量0。低炭素社会の実現のために、いつもの移動手段から見直してみましょう。

02 マイバックを持ち歩こう

レジ袋の製造に約8g、焼却に約21gのCO2が排出され、1日1枚もらって捨てると、年間で約10kgのCO2を排出している計算に。プラスチックゴミを削減していくためにも、マイバックの持参に取り組みましょう。

03 植物を育ててみよう

温暖化を止めるには、大気中のCO2を吸収するというのも一つの手段です。1本植林すると、年間で約8.8tのCO2を吸収することができると言われています。まずは自宅で小さな緑やお花を育ててみませんか。

【出典】 著書「マンガでわかる脱炭素」

01 西鉄バス イーコト 電気バスの導入

「レトロフィット電気バス」

西鉄グループでは、脱炭素社会を実現するため、住友商事と連携しながら、高性能・低価格な電気バス『レトロフィット電気バス』を開発し、2022年6月から小倉自動車営業所で運行しています。朝夕の通勤ラッシュ時には路線バスとして運行し、福岡地区には、2023年4月からの導入が予定されています。



解決するために、こんなイーコトが!